

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通活性化協議会
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	令和7年2月19日（水）14時00分～16時00分
開催場所	萌え木ホール 3階 A会議室
出席者	[委員（敬称略）] 鈴木文彦、倉科大地、岩澤貴顕（代理出席）、富樫秀樹、三浦裕介、古谷弘文、秦野凌、作井啓介、信山重広、佐藤武、平野景一、中山俊夫（代理出席）、佐藤義尚（代理出席）、並木正彦、青木亮、池内隆司、坂本敬、永田尚人、平野武、小田切美穂、玉村有佳、兵頭友幸、若藤実 [市事務局]小林大治（都市整備部交通対策課長）、千葉祐生（都市整備部交通対策課交通対策係長）、越聖子（都市整備部交通対策課交通対策係主任）、パシフィックコンサルタンツ(株)
傍聴の可否	可・一部不可・不可
傍聴者数	1人
会議次第	1 はじめに 2 議題 （1）交通ネットワーク再編事業について ① 第一回部会の報告 （2）地域公共交通計画について ① 今回の会議内容と前回会議での指摘と対応 ② 地域懇談会・オープンハウスの実施報告 ③ パブリックコメントの実施結果 ④ 小金井市地域公共交通計画策定に対する提言について（参考） ⑤ 計画の答申について 3 報告 ① 市内路線バスの減便等の報告（12月以降） ② 公共交通マップの更新 ③ C o C oバス東町循環ルート of 道路工事について ④ J R 中央線グリーン車について ⑤ 委員更新について ⑥ C o C oバスだより 8号 4 その他 委員の変更について 5 閉会 〔資料〕 資料1 第一回部会の報告 資料2 今回の会議内容 資料3 令和6年度第3回協議会 ご指摘と対応 資料4 地域懇談会・オープンハウスの実施報告 資料5－1 5－2 パブリックコメントの実施結果 資料6 小金井市地域公共交通計画に対する提言について（参考）

	資料 7 計画の答申について（計画書・概要版） 資料 8 市内路線バスの減便等の報告（12月以降） 公共交通マップ（更新版） J R 中央線グリーン車のパンフレット、チラシ C o C o バスだより（第 8 号） 席次表
発言内容・ 発言者名 （主な発言 要旨）	事務局： ただいまから令和 6 年度第 4 回小金井市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 — 会議成立の報告 — — 資料確認 — — 会議録について — 会長： 改めまして、皆さん、こんにちは。体感温度が低く風の強い中、お疲れさまです。 今日はこれまで議論してまいりました地域公共交通計画は今回で最終的なまとめをさせていただきたいと思います。最後なのでよろしくお願ひしたいと思います。 それでは、ここから議事に入らせていただきたいと思います。 次第に従いまして、議題（1）、交通ネットワーク再編事業について、第 1 回部会の報告を事務局からお願いします。 事務局： — 資料 1 に沿って説明 — 会長： 今の事務局からの部会に関する説明について、何かご意見、ご質問がありましたら発言をお願いします。 部会に出席しておられた委員が多いので、大体ご理解いただいている部分かなと思います。よろしいでしょうか。 それでは、今後、こうした内容をベースに計画、それからいろいろ議論を進めていきたいと思いますので、引き続きご協力をお願いします。 それでは、議題（2）に移ります。地域公共交通計画について、①の今回の会議内容と前回会議での指摘と対応について、事務局から説明をお願いします。

事務局：

—資料 2、資料 3 に沿って説明—

会長：

どのように反映されたかはこの後説明があると思います。ただいまのご説明の部分に関して、ご質問、ご意見はございますか。

特によろしければ次へ行きます。

議題②地域懇談会・オープンハウスの実施報告と、議題③パブリックコメントの実施結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局：

—資料 4、資料 5－1、資料 5－2 に沿って説明—

会長：

いただいたご意見、それを反映する形の計画書の案のご説明をいただきました。ここまでのところで、ご質問、ご意見があればお願いします。

青木委員：

1 点は書式の話ですが、19 ページの具体的な内容の裏のところに余白ページがあって、空白なのか、それとも仮に白くしているのか。同じように、背表紙裏も。

もう 1 点、34 ページ、今回のご意見をもとにバス会社のほうで運転手不足に対していろいろな対応を取っていますというのを入らせていただいている、グループ会社と連携した車内広告について写真の反射の関係で「バス運転手募集」が見にくくなっているの、色補正をよろしくをお願いします。

事務局：

皆様にご協力いただきまして、各社さんの広告を掲載させていただいてございます。改めていろいろな形で募集活動をしているんだなというところは認識をしたところです。色補正はかけてみます。色はプリントの仕方によって変わる部分もあるので、あまりばやけないような形でというところです。

前半のご指摘は、裏（白）と書いてあるところは単なる真っ白のページになります。ページ数の確認をするにあたって入れておかないと忘れてしまうところがあるので作業上のものがございます。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

永田委員：

９ページの混雑度ですが、国交省から出されているものですが、混雑度という概念自体があまり一般の方には認識されていないと思うんです。例えば小金井街道ですが、坂上の交差点のところで非常に混んでいるのに、この図だと混雑度が０．５～１．０で混んでいないような状況になっており、一般市民の認識とかなりずれが生じると思います。例えば類似の写真を入れ、平常的に混雑している状況だったら混雑度はどれくらいかを示すことにより、感覚的に違和感があります小金井街道（前原坂）の混雑度について皆さんの理解が進むように、ここのところは対策を講じていただければと思います。一般的に混雑度の概念というのは、下に書かれているものそのものだと考えられますが、そのあたりのずれは修正していただければと思います。

事務局：

おっしゃるとおりで、データは観測したタイミングとデータの作り方と実感の部分が合わないところがあると思っております。それもあったので、「通勤ピーク時間や交差点前などの地点など局所的に発生する渋滞に対する実感と数値が乖離している可能性がある」と注釈を入れさせていただいているところです。公表されているデータ、数値的にもこのとおりなので、別の数値を示していくのは難しいところもあり、もう一度整理いたしますが、そもそもこの資料を掲載するかどうかも含めて確認します。

永田委員：

平常的に渋滞していることは、交通が流れないということですね。通過交通の台数に対して、道路の持っている交通容量を比較するとどうしても低目の結果が出ていると思います。この書き方だとあまり多くの方が気づかないと思いますので、明確に示したほうがいいかなと思います。ご検討いただければと思います。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

平野委員：

平野です。資料１の４ページ、中町・東町の方は、まだまだ廃止になるんだということで皆さん認識を持っておられるんです。ここに書いてあるように、廃止するのではなく云々、検討を行うことについて了承されたということ、これを強調しないと、住民の方は、もう廃止なんだ、どうしようかという意識が強いです。

会長：

ありがとうございました。実は私も今説明を聞いていて同じような印象を持っています。廃止をしないでくれという意見が多いのですが、別に廃止するとは決まったわけではないので、この辺

の誤解というか、そのような情報が伝わっているんだろうなと私も思いました。その辺は事務局と相談したいと思います。

事務局：

私どもも説明会、オープンハウスで同じような意見をいただいている、物事が決まり切る前にいかに伝えるかということも大事なことと思っています。混乱を与えないような形で、かつ決定する前のところから伝わるような情報の発信については考えていきたいと思いますので、ご意見として承らせていただきます。ありがとうございます。

池内委員：

このような情報を流す際に気をつけないといけないのは、きっちりと私たちは努力しているという姿勢を見せることがすごく重要です。なぜなら、パブリックコメントの意見の中には小金井市としての全体的な公共交通を考える姿勢ではないようなものもあり、情報の伝え方が大切だと。私としてはこれだけ会議をやって検討したんですよという思いもあります。

そういうこともあり、市としてはきっちりバス会社と何とか公共交通の空白地域をなくすために努力をしていますと。その上で利用者には譲歩していただかなければならない部分もあるし、最悪のケースもあるわけじゃないですか。そういうことをきっちりお伝えすることは、例えばパブリックコメントをやる上においても最初の時点で市の方の発言で言うべきかと。廃止と決めつけて発言をしないでくださいということをもまず言うべきなのではないか。貫井前原循環の再編では、全然そんなことはなかったです。再編に向けて努力をしているという姿勢をまず見せるということですよ。これはあくまで私の意見です。

会長：

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

倉科委員：

J R の倉科です。11 ページ、12 ページのマップですが、こちらはそのままの大きさを掲載するのですか。折り込みにするのか、参照でホームページへの案内があるのか。このままでは読み取れないかなと思います。

事務局：

確かに計画の中に入れ込みたいということでこの大きさになってしまったのですが、ホームページでもご覧いただけるようにQRコードを載せています。また、大きい紙のマップを市内各所でお配りしております。この度、マップを更新していますので、後ほどご紹介いたします。

会長：

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、特段ほかにご意見がないようでしたら、いくつか提言的なご意見をいただきましたので、この辺はこの議題とは直接関係ないですが、今後おもてに出していく部分のことであったり、部会で議論するような中身に関してきっちりと広報していくということで考えていただきたいと思います。

それでは、こちらについては基本的にこの形で進めていくということではよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、議題④小金井市地域公共交通計画策定に対する提言について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 6 に沿って説明—

会長：

ただいま説明がございましたが、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

青木委員：

市議会から言っていることは分かりましたが、ここの協議会でどのような扱いをすればよろしいのでしょうか。

事務局：

この計画の策定及び策定後の事業実施に当たっての提言ということで、交通ネットワーク再編事業に関する意見も含めたものとなっています。

市議会からも意見をという形で出されたものですので、C o C o バスの運行協議に係る説明や周知の重要性、運転士不足の対策の必要性、更なる市民ニーズの把握及び情報発信、地域や民間との連携の検討など計画を推進していく上で、必要に応じて参考としていくものと考えているところでございます。

青木委員：

わかりました。

池内委員：

市議会のほうも運転手不足を重要な課題と認識しているということですか。

事務局：

同じ方向の考えだということです。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

平野委員：

運転手不足対策ということを書かれていますが、先週テレビでも放映されましたが、30を超える幼稚園が運転手不足で4月1日から園児の輸送をどうしようかと悩んでいる。そういった意味で、今後運転手不足はますます議題に上ってくるのではないかと考えています。幼稚園、園児の送迎をどうするか、お互いに協力し合って幼稚園がやるのかどうか、これから注目しながら情報を集めていきたいと思っています。

会長：

バス、タクシーだけの問題ではないということです。実際のところ、幼稚園にしても、病院とかさまざまな施設の送迎輸送も運転手が足りなくて困っているという現実には実際にあるので。ここで議論している計画については公共交通を中心に運転手を確保するための施策を考えていくことにはなりますが、トータルで言うと輸送すること全体について今人が足りないという現実があります。総合的に考えていく必要はあるだろうと思います。

ほかには。それでは、市議会からの提言については、この計画については事務局からの説明どおり、今後の事業を進めていく上での参考として受け取るという形にしたいと思います。

それでは、今期の本協議会のまとめになります。議題⑤計画の答申に入ります。これについて事務局からの説明は。

事務局：

協議会の答申にあたり、せっかくですので皆様からご感想を含めていただきたいと思います。

会長：

資料7の説明を事務局からして、その後皆さんにご感想をいただこうと思います。

事務局：

—資料7に沿って説明—

会長：

これでとりあえず計画策定という形になるので、感想を含めて一言ずついただきたいと思います。

倉科委員：

全体の意見というのは難しいところですが、鉄道を軸として、さらに地域のバス、タクシー、3次交通を含めてまちがどうなっ

ていくかというのは非常に大きな、鉄道の利用もそうですし、まちの発展としても非常に重要なところかと思いますので、計画を定めて、それを時点時点で修正して、よりよい形にしていくことが大事だと思います。

岩澤委員（代理）：

1年間ありがとうございました。人手不足という話がありましたが、ほかにも物価高などの環境下で輸送の担い手として持続可能な輸送を維持することの難しさを鉄道事業者としても感じているところです。一方で、まちの発展や維持につなげていけるように今後も地域のネットワークを確保できるように、安全・安心で快適に過ごせるような輸送に努めていきたいと改めて思ったところです。引き続きよろしくお願いいたします。

富樫委員：

東京バス協会の富樫です。いろいろとありがとうございます。

私どもは乗務員の不足ということで、今まで経験したことのないような状況に陥ってしまっているというところでございます。ただ、事業者は何とか地域の交通を守りたいという一心でやっておりますので、そのためにどうしようかということを業界としてもいろいろやっているところでございます。

特に小金井市さんのお話の中で、私は都内の各会議に出させていただいているのですが、よそと比べてということではないですが、どうしたら交通を守れるのだろうかというところですのでごく活発で建設的なご議論をされていると思います。中身もそうだと思います。自治体によってはオンデマンドとか新しいことにどんどん飛びつくケースもあったりしますが、地に足のついた議論をされている市だと私どもは認識しております。我々もお話をお伺いして参考になるところも多いですので、引き続きご鞭撻、ご指導をいただければと思います。

三浦委員：

京王バスの三浦でございます。C o C oバスの関係ではいろいろと皆様をお騒がせし、ご心配をおかけしまして本当に申し訳ございません。今この場でこういった形で皆様と議論させていただけることを本当に心強く思っております。

今回の計画策定に当たっては、1つ大きな転換点かなと思っております。今まではこういう公共交通の計画は交通不便地域をいかに便利にしていけるか、プラスの方向の議論が中心だったかと思いますが、今回ここで目標1にうたわれているとおり、持続可能、要は現状をどうやって維持していくか、これが最重要課題であって、ここに対してどう取り組んでいけるかというところをこれから議論していかなければいけない局面が来たというところが目標1にまさにうたわれているということに対して小金井市さんの現状認識の賢明さとか、そういったところを感じるところでご

ざいます。

バス事業者はいろいろな努力をしている中で、何とかネットワーク維持ができるように頑張っているところではありますが、そういった中でも至らず減便していかざるを得ないというところは今後の未来でも見えているところでもあります。

そういったときに、我々民間バス事業者はどうしても地域住民の方へのチャンネルを持っておりませんので、我々からの発信だけでは片方向になりがちなところであるのですが、こういった場面を通して双方向で議論させていただいて、我々では見えていない部分、住民の方のご意見も取り込みながら、よりよい形で持続可能なネットワークを探しながらこれからも一緒に議論していければ幸いです。

古谷委員：

小田急バスの古谷でございます。運転手不足で、小金井市内に限らず、自社路線の路線バスさえも減便している状況なので、持続可能なネットワークという部分に路線バスとして協力することがなかなか厳しい状況にあります。ただ、自社路線バスを運行するにも各自治体との協議や調整といったところは今後必要になってきますので、我々も可能な限り、単純なバスの維持というのは難しいかもしれませんが、減便するにしても、変更するにしろ、事前に今まで以上に情報を密にして極力交通空白地帯を作らないような努力をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

秦野委員：

西武バスの秦野でございます。1年間ありがとうございました。

ご存じのとおり、バス業界を取り巻く環境は非常に厳しい中で、このような協議会で議論を活発にしていくことは非常に有意義だと思っていますし、今後地域にいろいろご協力をいただかなければいけないこともいっぱいあると思いますし、我々事業者としてもまだまだ努力していかなければいけないことがあるなと感じております。

また、公共交通機関をどうやって維持していくかということも非常に大事だと思っていますが、一方で、公共交通機関というのは手段でしかなくて、その先に外出する目的があるからこそ初めて交通手段を利用してもらえるのだと思っていますので、公共交通を維持する取り組みと同時に、外出機会の創出の取り組みも別の会議体で議論をしていただけるとありがたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

作井委員：

関東バスの作井です。昨年の夏ぐらいから委員に参加させていただいていますが、公共交通のあり方は交通事業者各社それぞれ

で取り組めるものは限界があると思っています。こういった会議体や地域の方々の意見をいただいて考えさせられる部分がすごく多くありました。それを会社に持ち帰って今後各自治体で走っている公共交通に対して考えていきたいと思っておりますし、まちづくりですとか交通のあり方について何か貢献できたらいいなと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

信山委員：

つくば観光の信山でございます。弊社としましてはC o C oバスマニの運行で皆様に大変お世話になっております。もともとはタクシー会社として運行しております。こういった形でいろいろな業界、または地域の課題を皆様とお話しできてとても有意義な機会だったと思っております。

また、せっかく計画を作りましたので、3年、5年、長期にわたった視野を持ちながら当社としても地域公共交通の一員としてできるだけ努力して皆様にご迷惑をかけないように今後も続けていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

佐藤委員：

運転ボランティア、N P O法人ハンディサポートこがねいの佐藤でございます。残念ながら今年度3月いっぱいにて我が団体は閉じることになりました。運転手不足、運転手の高齢化、これは9年ぐらい前から市とかいろいろとご相談していたのですが、市長様、市議会議員様、そして役所方々、答えはいつも善処します、検討しますで、建設的な具体的な案は1つも出なかったことを非常に残念に思っております。利用する方は要介護、要支援の弱者ばかりです。通院、通所のボランティア団体でございました。約250から300の家族の方の嘆き声が届いております。聞いていますとまだバスを利用したりする方は恵まれていると思っております。乗れない状態の方がたくさんいらっしゃいます。そこにもいろいろ目を向けていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

平野委員：

京王バス労働組合の平野です。いろいろなところで運転手不足と叫ばれている中で、今年に入って、つい先日まで働いていた仲間が退職したいという話がいろいろ出てきて、本当に厳しい状況の中で、会社と相談しながらできるだけ地域の方々に迷惑をかけないように、減便せざるを得ないところもありますが、やっていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

中山委員(代理)：

東京運輸支局、支局総務企画担当の五十嵐と申します。本日はあいにく中山が出席できなかったのですが、代理で出席させていただきます。

私どもとしては、記載いただきたい内容を書いていただいているかを主な視点で計画を見ていたのですが、書いていただきたい内容は書いていただいているのかなと感じているところです。

また、個人的な意見ですが、カラフルに作られていて、見やすくなっているかなと思いました。よろしくお願いいたします。

佐藤委員(代理)：

東京運輸支局輸送担当の須藤です。佐藤の代理で出席させていただきます。

1年間ありがとうございました。私としましては、普段は運送事業の届出や認可を見ているところですが、こういった場で実際に公共交通を利用されている方の声や事業者様の声を聞けて、とても有意義な時間をいただけたと思っています。

今後も、バス事業者様は大変な状況だと思うのですが、小金井市さんとバス事業者様と連携して運輸局としてもできることをやっていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

並木委員：

小金井警察の交通の並木と申します。いつもありがとうございます。

いろいろな場面で運転手不足ということでさまざまな対策のお話が出ているところですが、実は私ども警視庁、警察官も採用者数激減という現状がありまして、我が警視庁のほうではスローガンとして我々職員一人一人がリクルーターだということで採用をしなければ治安維持を保てないということで、かなり強い気持ちで我々警察官として治安維持がかなわないという事態が起きないよう努力しているところであります。いろいろな形で人手不足であれば、その事業を中止もしくは縮小という話になるのですが、我々警察のほうはそういうわけにもいかないなので、頑張っているところであります。

こういった会議で皆様からのいろいろなご意見ですとか、日ごろ我々の業務の中では耳に入らないようなことについてもいろいろなお話を聞くことができて非常にいい機会でありましたので、引き続き皆様のご意見、業界のご意見を伺いつつ、小金井市の安全・安心のために努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

青木委員：

公募委員、市民の青木でございます。この2年間地域公共交通計画の策定、それから同時にC o C oバス2路線の申入れという形でいろいろ大変だったというのが率直な感想なのです。同時に、地域説明会やオープンハウスに参加させていただきましたが、そこである程度市民の方と市役所の担当の方で議論していると、比較的皆さん最後は納得していただけるかなという感想を受けまして、そういう意味では広報といいますか、議論する場が大

切だと思いました。

この後も、人手不足ですとか人口減少ということで公共交通は大変なことになってくると思いますが、一步一步理解を賜れるようにしながらよりよいものにしていければと考えてございます。どうもいろいろありがとうございました。

池内委員：

公募市民の池内です。ありがとうございます。C o C o バス再編から公共交通計画ということで、本当に市の職員の方、コンサルの方も素晴らしいものができたなとリスペクトしたい思いであります。バス事業者の方にはいろいろな失礼な発言もあったかと思いますが、そういう部分では血の通ったものができたのかなと思ったのですが、先ほどの佐藤さんの話を聞いて結構ショックな部分もあります。市民みんなで考えていくべきものだなという。公共交通、特に弱者の方に対する交通手段というのはもっともっと充実させていかないと、小金井市自体もそうですし、日本自体もシュリンクしていくことになりかねないので、リソースは限られているので、それをどのように使うかということを今後考えていかなければならないなど。その何かしらのお手伝いできればと考えております。ありがとうございました。

坂本委員：

同じく公募市民の坂本です。皆さん方と重複する部分があるかもしれませんが、この文章にもありますように、令和5年に諮問を受けて、最初、C o C o バスの編成という具体的なことと違って抽象論になってしまうのではないかと、絵に描いた餅みたいな議論になって、雲をつかむような話になるのではないかと考えていたら、会長をはじめ、皆さん方、極めて具体的な話に持っていただいて、よくこれだけ2年足らずでまとめ上げたなと思います。特に事務局の方とコンサル会社の方は大変だったと思うんです。こちらは会議に出て、こういうふうにしろとか、わかりやすくしろと言うけれど、作るほうは大変だと思うんですね。それを次の会議までにはちゃんと調整し修正をしていただいていて、事務局をはじめ、スタッフの方に感謝します。

もう1つ、佐藤様のお話を伺って、私らはこれからも携わらせていただけるのだとするならば、基本方針の「誰もが自由に選択できる」、この言葉はいろいろな障害を持たれる方も、また老いたる者もみんな、誰もが自由に選択できる地域公共交通をみんなで守り育てるということで、この答申書を受けた市長側はきちんと受け止めてほしいと思うんです。私どもこの協議会は36の施策とか事業を定めましたが、これから実際にやってもらうのは市のほうで予算を確保したり、またはアイデアを出してくれたりしなければ実施できないわけです。ですから、この答申書が成果物ではなくて、この36の施策とか事業がいくつできるかというのがこの委員会の成果物だと思っていますので、部長さん、課

長さんをはじめ、市の中でもぜひ戦っていただいて、実現のために、バックには市民が苦しい状況にならないという思いがこの計画案にはあるんだということをぜひ訴えていただきたいと思います。皆さん、どうもありがとうございました。

永田委員：

公募委員の永田でございます。2年弱、この委員会に携わって非常に勉強になったことが多くございます。この協議会の中ではかなり言いたいことを言って申し訳なかったところですが、基本方針の4つの目標というのがメインになるということで、ここを何とかしなければいけないというのが皆様の総意かなと個人的には思っております。

日本が人口減少過程に入ってきているという状況は、かなり大きな課題になっています。持続可能なまちをどうするのか、特に小金井の場合は坂や崖線があるということで、崖線の下エリアに関しては本当に制約を受けるところであり、皆さんが快適に移動できる手段というのは本当にかげがえのないものであると思っております。そういう意味で、目標4に記載されていますが、新しい技術、それを実現できるような形で実験してみることで市民の方の理解を得ることも必要になってくると思います。

いろいろなことを申し上げましたが、本当にこの委員会の中で皆さんのご意見を伺いながら、非常に勉強になった次第です。

皆様方が安心して住みやすいまち、特に公共交通をもう少し考えてみたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

平野委員：

平野です。協議会のメンバーになって心がけていることが2つあります。1つは必ず席上で発言をするということ。そのためには送付された資料をよく読んで、自分なりに理解をしてこの席に座って、そして発言をするということ。そうでないと何のために来ているのだろうかと思ひますし、そういった意味で非常に勉強になりました。

2つ目、開催される地域説明会、地域懇談会、オープンハウス、すべて参加しております。それから、中町、東町、緑町、いろいろな方のご意見を積極的に自分から聞くようにしてこの会に臨んでおります。非常に参考になりました。どうもありがとうございました。

小田切委員：

市民公募の小田切と申します。最初何も知らないでここに参加させていただいていたのですが、皆様の話や丁寧な資料のおかげで全くわかっていなかった自分でも少しずつ理解ができたなと思っています。

すごく私の中で感じているのは、前回の部会の際にバスの運

営の仕方、こういうふうになっているというのをすごく詳しくお話していただけて自分の中でわかったこととか、今までただ単にバスをこうやって増やせばいいんじゃないの、こうすればいいんじゃないのと安易に思っていたことが違うんだなということがわかりました。コロナのときに宅配の人が足りないということでニュースで取り上げて具体的に報道されていたので、国民も大変だなというのを理解してくれたように、バスの運転手の方もそういう特集をやってくればもっとみんなも理解してくれるのではないかと思います。

今後も自分の中で発信できたらなと思っていますので、よろしくお願いします。

玉村委員：

公募委員の玉村です。1年間ありがとうございました。これから考えていきたいことは路線バスの話と、路線バスがあまり機能していないところの場所を可能な限り工夫して減らしていけたらなというのと、マイクロバスとかシェアサイクル、シェアタクシーとか、バスだけに頼らないでいろいろな形でいろいろな人が乗れる、市民の人が乗りやすいまちづくりに貢献できればいいかなと思っています。

感想ですが、私はいろいろな県や市に住んでいたのですが、小金井市の公共交通マップ、C o C oバスだよりはすごく見やすくわかりやすいので、「C o C oバスでここに行こう」というのを見るとバスでこうやって簡単に行けるんだなとわからない人でもわかりやすいのでいいなと思いました。ありがとうございました。

兵頭委員：

小悠連と申しまして、所属は小金井市悠々クラブ連合会、高齢者の集まりということで活動しております。60歳以上の方が集まって活動しているのですが、だんだんこれから高齢者が増えていって、年取っている人がいるなと思って、だんだんそれが自分のものとなってきて、他人事ではないなと。誰しも年を取るんだなと感じております。

送迎の問題も大きな問題になっています。バスの問題を含めて。行けないから、足がないからずっと家にいる、ひきこもりがだんだん増えてきたとか、そういうのが問題になっています。市民の足としてのC o C oバスを利用させていただいているのですが、まだ廃止すると決まったわけではないということで、少しだけ安心しております。高齢者は安く優遇されていると。若い人から見ればそう見えるんだなとこのまとめを見ると感じました。高齢者も安心して人生の最後まで楽しく過ごせるように、ひきこもりをなくすように、今後とも公私官民ともにご助力をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

若藤委員：

小金井市の若藤です。この協議会、2年間ということでお世話になりました。ありがとうございます。私は実は今年度なかなか出席ができなくて、本当であればこういった場で皆様からお話を伺うのは本当に貴重な場だと思っているのですが、とても残念に思っています。

この公共交通のマスタープランですが、もう1つ今回小金井にはまちの将来像を示す、永田委員が策定委員を務められていましたが、都市計画マスタープランというのがありまして、それとともに公共交通のマスタープランも連携しながら、魅力あるまちづくりを行っていかねばと思っております。ただ、現在の交通の状況を考えますと、都市マスでいろいろとまちづくりを示しているのですが、そこをなかなか繋いでいけなくなってくるという課題も今後整理しながら、都市マスも交通のマスタープランによって変わってくる部分もあるのかなと。連携して双方作っていくような形になってくるのかなと感想としては思っています。

そして、坂本委員からお話が合ったように、本来私としてはこの計画の6章、計画の実現に向けてというところがありますので、我々としてはしっかりと進めていかなければいけないと思っております。

また、玉村委員はいろいろなところに住まわれたとおっしゃっていましたが、僕は小金井市から出たことがなく、保育園、小学校、中学校、高校、大学、職場が全部小金井なので、逆に言うと小金井以外のことがよくわかっていなくて、そういった意味でも皆さんの貴重なご意見をいただいたことが本当に嬉しく思っています。2年間お世話になりました。ありがとうございます。

会長：

ありがとうございます。私からは別に、皆さんからいろいろいただきましたので、簡単に申し上げますと、非常に現実的かつ中身のある計画ができたと思います。皆様のおかげです。ありがとうございます。

それと同時に、先ほど池内さんからもありましたが、事務局とコンサルの皆さんが非常に努力をしてくださいました。会議をやるときに事前に打ち合わせをやるのですが、私は言うだけなんです。その後大変だっただろうと思います。本当にありがとうございます。

ということで、こちらの内容をもって本協議会の答申として後日市長にお渡ししたいと思っておりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

この後、次第3の報告があります。では、報告①市内路線バスの減便等の報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：

—資料 8、報告①～③を説明—

会長：

事務局からの説明の①、②、③について、ご質問がありましたらお願いします。

三浦委員：

資料 8 についてですが、私どもからの非常に定義がわかりづらかったと思いますが、右側の平日運行回数の前というのは 2023 年 4 月 1 日以前の回数になっています。小田急バス様の内容欄のカッコ書きと同じように、前の回数の便は R 4 時点という内容で注釈を入れていただければありがたいです。これだと R 6、12 で一気にこの回数に減ったように見受けられてしまうので、注釈を入れていただければ助かります。

事務局：

対応いたします。

会長：

ほかには。

平野委員：

非常にこの交通マップはよかったです。といいますのは、東町の方に交通マップはありますかというのと、再編前を出してくるんです。東町循環は変わっているのに延長になっていない分を持ってきて、それですかと言うわけです。これでなくて、令和 5 年 3 月発行と右下に書いてあるでしょうと言ったのですが、お年寄りには小さい文字だからわからない。それで、今回これになったから、早速持って行って、今度グリーンになりましたから、こちらのグリーンを差し上げますので、これで見てくださいということで、皆さん学校関係、役所関係全部ここに載っていますでしょう。すごく便利です。どうもありがとうございました。

会長：

ほかはよろしいですか。それでは、報告の④、JR さんからグリーン車についてのご説明をお願いいたします。

倉科委員：

—報告④を説明—

会長：

何かご質問等ございますか。

会長：

今 8 割ぐらいついていますか。9 割ぐらいですか。

倉科委員：

9 割ぐらい入っています。

会長：

この間は山梨のほうから帰ってくるときに、大月から快適に過ごさせていただきました。

特別ご質問がないようでしたら、ぜひ今後の利用につなげていただければと思います。

事務局：

— 報告⑤、⑥を説明 —

会長：

今の点についてはよろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の会議内容はすべて終了になりますが、全体を通してご意見、ご質問があれば承りますが、いかがでしょうか。

会長：

ありがとうございました。こういう計画というのは作って終わりではないですから、そこがスタートですから、それをぜひ皆さんも意識していただいて今後ともご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして令和 6 年度第 4 回小金井市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。協議会自体は今後とも続いていきますが、今回の任期としては最後の回になります。2 年間大変ご協力ありがとうございました。

事務局：

この間、いろいろなご意見、貴重なご意見をいただきまして、おかげさまをもちまして交通計画を策定することができました。改めましてお礼を申し上げます。皆さん、どうもありがとうございました。

会長：

以上で終わります。ありがとうございました。

以上